

# 「じゃらん」宿泊旅行調査 2008



2008年7月28日  
株式会社リクルート

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO: 柏木齊)の旅行カンパニーに設置されたじゃらんリサーチセンター(センター長: 沢登次彦)では、この度、全国約1万4,000人の宿泊旅行者を対象に、「じゃらん宿泊旅行調査2008」を実施しました。

この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。

昨年度1年間(2007年4月～2008年3月)における国内での宿泊旅行の実態について、その行き先や回数、旅行費用などの調査をし、今年で4回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

## <TOPICS>

●**昨年度1年間(2007年4月～2008年3月)の全国の宿泊旅行※1者数は、延べ約1億7,500万人(昨年比0.9%増)。延べ宿泊数は約2.96億泊(昨年比1.0%増)であり、延べ宿泊旅行者数・延べ宿泊数ともに、昨年と比べてやや増加している。**

昨年度1年間に宿泊旅行を行った人の割合は、64.7%→63.8%と2年連続で落ち込んでいるものの宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数は、2.77回→2.83回に増加。その結果、延べ宿泊旅行者数は微増となった。また宿泊旅行経験者の1回の旅行あたり平均宿泊数は1.69泊と前年と同数値となったため述べ宿泊数も微増となっている。宿泊旅行実施率は下がっているが、宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数は上がっており、旅行頻度について二極化の傾向が伺える。

※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

.....P3

●**全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は約8.7兆円で、昨年と比べてやや増加している。**

1回あたりの宿泊旅行にかかる費用は個人旅行、パック旅行ともに昨年と変化はない。単価は変化がなかったものの、宿泊旅行数が増加した結果、費用総額も増加している。

.....P4

●**延べ宿泊旅行者数の多い旅行先と、宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先は、昨年と同様の顔ぶれが上位に並ぶ。**

延べ宿泊旅行者数では、沖縄県が前年の12位から10位にランクイン。昨年度と比べて旅行者数を最も増やしたのは東京都、次に神奈川県となっている。

.....P5

●**子供連れの家族旅行が減少傾向の一方で、一人旅が増加傾向。**

.....P6

## ■<<テーマ別・都道府県ランキング>>

・地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	香川県	2位	高知県	3位	北海道
・魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	北海道
・魅力的な宿泊施設が多かった	1位	沖縄県	2位	大分県	3位	熊本県
・地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	鹿児島県	3位	宮崎県
・子供が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	三重県
・若者が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
・大人が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	京都府	3位	沖縄県

.....P7・8

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/support/inquiry\\_press.html](https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html)

## 調査概要

◎調査名 **じゃらん宿泊旅行調査2008**

◎調査方法 **インターネットによる調査**

### ■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した。  
 ②調査時期 2008年4月2日(水)～10日(木)  
 ③調査対象 全国20～79歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)  
 ④配信数 122,496件  
 ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した。  
 ⑤調査内容 昨年度1年間(2007年4月～2008年3月)の国内宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の有無について  
 ⑥回収数 60,000件(回収率49.0%)  
 ⑦集計対象数 20,000件  
 ※回収された6万件のうち、都道府県別に割付を行って2万件を抽出し、性・年代別の宿泊旅行実施率を算出した。

### ■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した。  
 ②調査時期 2008年4月7日(月)～17日(木)  
 ③調査対象 ・1次調査において、昨年度1年間に国内宿泊旅行をした、と回答した人:37,731件  
 ・追加調査において、昨年度1年間に国内宿泊旅行をした、と回答した60歳以上の家族本人:1,670件  
 ※今回は調査回収難度が高い60歳以上の回収数を上げるために追加調査を実施。追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として該当家族が同居する上で回答という条件で実施した。  
 ④配信数 17,760件(うち、同居家族モニター440件)  
 ※調査対象から、最終的に都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように抽出した。  
 ⑤調査内容 昨年度1年間に実施したすべての宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した。  
 ⑥回収数 13,906件(回収率78.3%)  
 ⑦有効回答数 13,882件(うち、同居家族モニター273件)

## ◎回答者の属性

### <1次調査>

【1次調査】												
全体	男性	女性										
20,000 (100.0%)	10,910 (54.6%)	9,090 (45.5%)	全体	20～34歳	35～49歳	50～79歳						
			20,000 (100.0%)	7,079 (35.4%)	6,423 (32.1%)	6,498 (32.5%)						
20,000 (100.0%)	北海道 (5.0%)	青森県 (1.0%)	岩手県 (1.0%)	宮城県 (2.0%)	秋田県 (1.0%)	山形県 (1.0%)	福島県 (2.0%)	栃木県 (2.0%)	群馬県 (2.0%)	茨城県 (3.0%)	埼玉県 (5.0%)	
1,000 (5.0%)	千葉県 (5.0%)	東京都 (6.0%)	神奈川県 (5.0%)	山梨県 (1.0%)	長野県 (2.0%)	新潟県 (2.0%)	富山県 (1.0%)	石川県 (1.0%)	福井県 (1.0%)	静岡県 (3.0%)	岐阜県 (2.0%)	愛知県 (5.0%)
200 (1.0%)	三重県 (1.0%)	滋賀県 (1.0%)	京都府 (3.0%)	大阪府 (5.0%)	兵庫県 (5.0%)	奈良県 (1.0%)	和歌山県 (1.0%)	鳥取県 (1.0%)	島根県 (1.0%)	岡山県 (2.0%)	広島県 (3.0%)	山口県 (1.0%)
200 (1.0%)	徳島県 (1.0%)	香川県 (1.0%)	愛媛県 (1.0%)	高知県 (1.0%)	福岡県 (5.0%)	佐賀県 (1.0%)	長崎県 (1.0%)	熊本県 (1.0%)	大分県 (1.0%)	宮崎県 (1.0%)	鹿児島県 (1.0%)	沖縄県 (1.0%)

### <2次調査>

【2次調査】												
全体	男性	女性										
13,882 (100.0%)	6,925 (49.9%)	6,957 (50.1%)	全体	20～34歳	35～49歳	50～79歳						
			13,882 (100.0%)	4,556 (32.8%)	4,446 (32.0%)	4,880 (35.2%)						
13,882 (100.0%)	北海道 (5.0%)	青森県 (1.0%)	岩手県 (1.0%)	宮城県 (2.0%)	秋田県 (1.0%)	山形県 (1.0%)	福島県 (2.0%)	栃木県 (2.0%)	群馬県 (2.0%)	茨城県 (3.0%)	埼玉県 (5.0%)	
693 (5.0%)	千葉県 (6.0%)	東京都 (6.0%)	神奈川県 (5.0%)	山梨県 (1.0%)	長野県 (2.0%)	新潟県 (2.0%)	富山県 (1.0%)	石川県 (1.0%)	福井県 (1.0%)	静岡県 (3.0%)	岐阜県 (2.0%)	愛知県 (5.0%)
138 (1.0%)	三重県 (1.0%)	滋賀県 (1.0%)	京都府 (3.0%)	大阪府 (5.0%)	兵庫県 (5.0%)	奈良県 (1.0%)	和歌山県 (1.0%)	鳥取県 (1.0%)	島根県 (1.0%)	岡山県 (2.0%)	広島県 (3.0%)	山口県 (1.0%)
137 (1.0%)	徳島県 (1.0%)	香川県 (1.0%)	愛媛県 (1.0%)	高知県 (1.0%)	福岡県 (5.0%)	佐賀県 (1.0%)	長崎県 (1.0%)	熊本県 (1.0%)	大分県 (1.0%)	宮崎県 (1.0%)	鹿児島県 (1.0%)	沖縄県 (1.0%)

#### ※集計・分析手法について

はじめに平成19年10月1日現在推計人口(総務省統計局発表)および1次調査結果を用いて、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している。また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない道府県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した。

### ◇じゃらんリサーチセンターの概要

「じゃらんリサーチセンター」は、国をはじめ地方自治体、観光関連事業者にとって、すぐに使える情報を広く提供し、かつ、日本の観光振興にさまざまな切り口から提案を行うことで、新しい観光ムーブメントを創出し、観光産業全体のさらなる活性化に寄与することを狙いとし、2005年8月より、株式会社リクルート旅行カンパニー内に設置されている組織です。

# TOPIC

## 属性別の宿泊旅行者数と延べ宿泊数

**昨年度1年間(2007年4月～2008年3月)の全国の宿泊旅行※1者数は、延べ約1億7,500万人(昨年比0.9%増)。延べ宿泊数は約2.96億泊(昨年比1.0%増)であり、延べ宿泊旅行者数・延べ宿泊数ともに、昨年と比べてやや増加している。**

昨年度1年間に宿泊旅行を行った人の割合は64.7%→63.8%と2年連続で落ち込んでいるものの、宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数は2.77回→2.83回に増加した。この結果、延べ宿泊旅行者数は148万人増(昨対比0.9%増)と微増した。また宿泊旅行経験者の1回の旅行あたり平均宿泊数は1.69泊と前年と同数値となったため述べ宿泊数も279万泊増(昨対比1.0%増)の微増となっている。宿泊旅行実施率は下がっているが、宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数は上がっており、旅行頻度について二極化の傾向が伺える。また性・年代別の推移をみると引き続き50～70歳の層が半数を占めている。その一方で20～34歳の減少傾向が続いている。

※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。

### ◇延べ宿泊旅行者数の推計方法

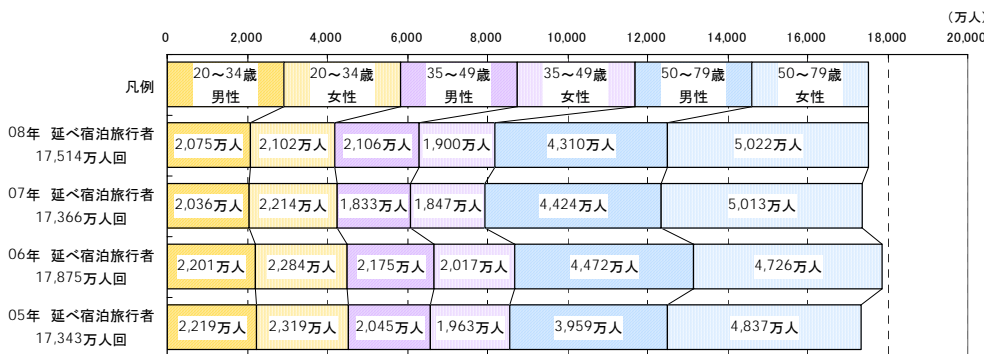
	H19.10.1現在 推計人口	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) <B>	宿泊旅行 経験者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行 経験者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万泊) A*B*C*D
20～34歳 / 男性	1,243	61.8	2.70	1.79	768	2,075	3,713
20～34歳 / 女性	1,197	66.3	2.65	1.67	793	2,102	3,511
35～49歳 / 男性	1,279	60.1	2.74	1.65	768	2,106	3,474
35～49歳 / 女性	1,260	58.9	2.56	1.65	742	1,900	3,135
50～79歳 / 男性	2,266	64.7	2.94	1.69	1,466	4,310	7,284
50～79歳 / 女性	2,463	67.3	3.03	1.69	1,657	5,022	8,487
↓上記セルの合計							
<b>[08年]全国20～79歳男女</b>	<b>9,707</b>	<b>63.8</b>	<b>2.83</b>	<b>1.69</b>	<b>6,196</b>	<b>17,514</b>	<b>29,604</b>
[07年]全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
[06年]全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
[05年]全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024
	<a> (万人)	b÷a (%)	c÷b (回)	d÷c (泊)	<b> (万人)	<c> (万人回)	<d> (万泊)

※人口について、下記の統計値を用いて調査を行っています。

2008年 : H20年10月1日現在推計人口  
 2007年 : H17年10月1日現在国勢調査人口  
 2006年 : H17年10月1日現在推計人口  
 2005年 : H16年10月1日現在推計人口

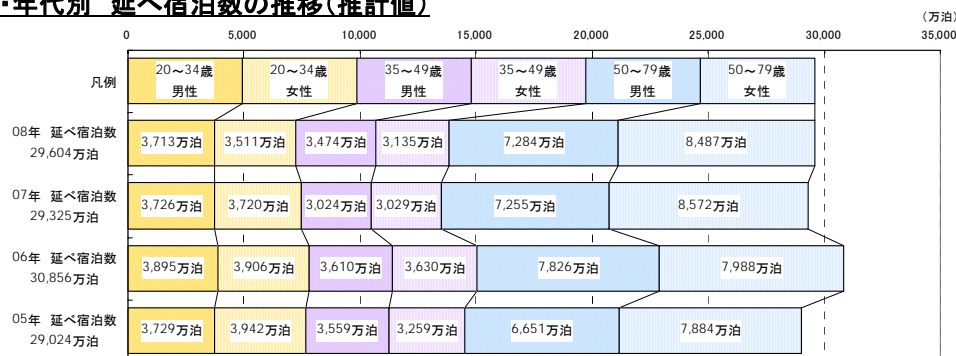
※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。

### ◇性・年代別 延べ宿泊旅行者数の推移(推計値)



※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。

### ◇性・年代別 延べ宿泊数の推移(推計値)



※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。

# TOPIC

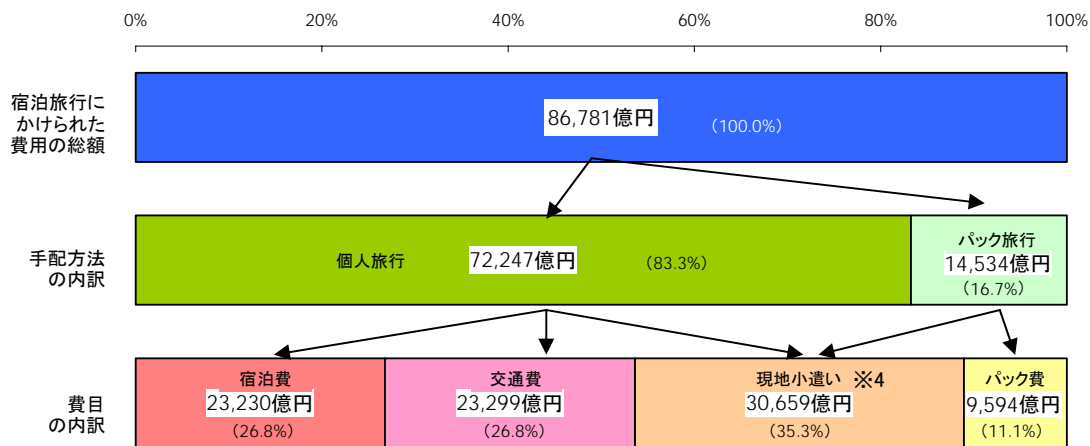
## 宿泊旅行にかけられた費用

全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は約8.7兆円で、昨年と比べてやや増加している。

1回あたりの宿泊旅行にかかる費用※2は個人旅行※3、パック旅行ともに昨年と変化はない。単価は変化がなかったものの、宿泊旅行数が増加した結果、費用総額も増加している。

※2 1回の宿泊旅行にかけられた1人あたり平均費用・・・1回の宿泊旅行にかけた費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計、パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地小遣いの合計。20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている。  
 ※3 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

### ◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)



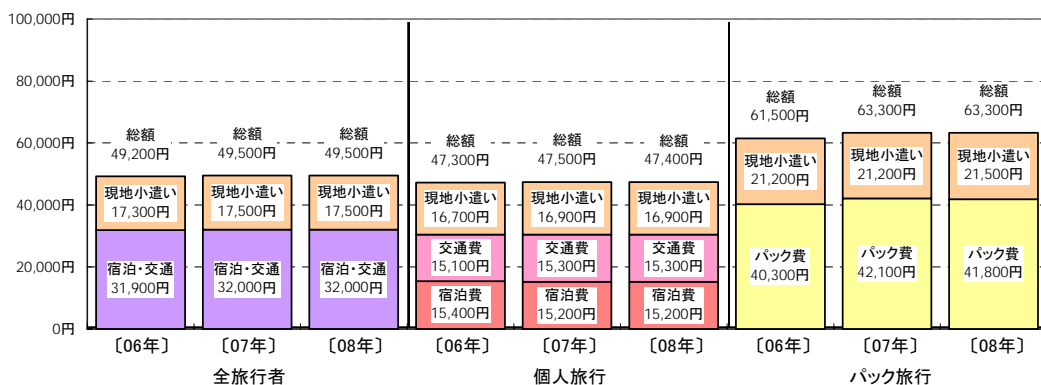
※4 現地小遣い・・・旅行先での飲食・買い物、娯楽費、目的エリア内での移動費用を含む。

### 〈参考〉05年～08年比較 宿泊旅行にかけられた費用総額 (推計値)

	宿泊旅行にかけられた費用の総額	手配方法の内訳		費目の内訳			
		個人旅行	パック旅行	宿泊費	交通費	現地小遣い	パック費
08年	86,781 (100.0%)	72,247 (83.3%)	14,534 (16.7%)	23,230 (26.8%)	23,299 (26.8%)	30,659 (35.3%)	9,594 (11.1%)
07年	86,180 (100.0%)	71,702 (83.2%)	14,478 (16.8%)	23,005 (26.7%)	23,174 (26.9%)	30,358 (35.2%)	9,643 (11.2%)
06年	87,889 (100.0%)	73,372 (83.5%)	14,518 (16.5%)	23,895 (27.2%)	23,515 (26.8%)	30,960 (35.2%)	9,520 (10.8%)
05年	87,835 (100.0%)	73,957 (84.2%)	13,878 (15.8%)	24,715 (28.1%)	23,265 (26.5%)	30,771 (35.0%)	9,084 (10.3%)

### ◇1回の宿泊旅行にかかる費用(大人1人あたり)

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合があります。



#### ＜宿泊旅行費用総額の推計方法＞

- ①集計データより性・年代別に個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

**延べ宿泊旅行者数の多い旅行先と、宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先は、昨年と同様の顔ぶれが上位に並ぶ。**

延べ宿泊旅行者数では、沖縄県が前年の12位から10位にランクイン。

昨年度と比べて旅行者数を最も増やしたのは東京都、次に神奈川県となっている。最も増加した東京都は新規の複合型商業施設の開業やホテルの開業・リニューアルラッシュの影響などが考えられる。また今年の増加数上位の都道府県をみると沖縄県を除いては、関東近郊の都道府県が並んでいる。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊者数は含まない。

※ 1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回がおこなわれたとカウントしている。

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数(推計値) ※上位10都道府県

全体					
	[08年] 推計値	順位変動	[07年] 推計値	[06年] 推計値	2005 推計値
1位 東京都	1,770万人	←	(1位 1,610万人)	(1位 1,629万人)	(1位 1,589万人)
2位 北海道	1,224万人	←	(2位 1,298万人)	(2位 1,376万人)	(2位 1,454万人)
3位 長野県	981万人	←	(3位 946万人)	(3位 1,009万人)	(3位 1,063万人)
4位 神奈川県	959万人	↑	(5位 823万人)	(5位 887万人)	(5位 879万人)
5位 静岡県	936万人	↓	(4位 877万人)	(4位 986万人)	(4位 942万人)
6位 京都府	760万人	←	(6位 767万人)	(6位 754万人)	(6位 749万人)
7位 大阪府	719万人	←	(7位 752万人)	(7位 727万人)	(7位 678万人)
8位 千葉県	693万人	←	(8位 659万人)	(8位 670万人)	(8位 650万人)
9位 兵庫県	576万人	←	(9位 587万人)	(10位 574万人)	(10位 530万人)
10位 沖縄県	540万人	↑	(12位 493万人)	(12位 521万人)	(14位 453万人)

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値) ※上位10都道府県

全体					
	[08年] 推計値	順位変動	[07年] 推計値	[06年] 推計値	[05年] 推計値
1位 東京都	11,992億円	←	(1位 10,950億円)	(1位 11,013億円)	(1位 11,769億円)
2位 北海道	8,632億円	←	(2位 9,053億円)	(2位 9,664億円)	(2位 9,992億円)
3位 沖縄県	5,344億円	←	(3位 4,661億円)	(3位 5,097億円)	(5位 4,244億円)
4位 京都府	4,351億円	←	(4位 4,510億円)	(4位 4,471億円)	(4位 4,292億円)
5位 神奈川県	4,127億円	↑	(7位 3,546億円)	(7位 3,566億円)	(6位 3,823億円)
6位 大阪府	3,833億円	↓	(5位 3,943億円)	(5位 3,885億円)	(7位 3,798億円)
7位 長野県	3,716億円	↓	(6位 3,857億円)	(6位 3,870億円)	(3位 4,452億円)
8位 静岡県	3,385億円	←	(8位 3,219億円)	(8位 3,436億円)	(8位 3,774億円)
9位 千葉県	3,262億円	←	(9位 3,074億円)	(10位 3,252億円)	(9位 3,089億円)
10位 福岡県	2,668億円	←	(10位 2,949億円)	(12位 2,495億円)	(11位 2,371億円)

＜都道府県別の宿泊旅行費用総額の推計方法＞

- ①集計データより都道府県別に、性・年代別に個人旅行とバック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②都道府県別に、性・年代・手配方法(個人orバック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③都道府県別に、性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④都道府県別の費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

＜参考＞延べ宿泊旅行者増加数(推計値)

※上位5都道府県

	07年→08年 増加数	06年→07年 増加数	05年→06年 増加数
1位 東京都	160万人	新潟県 47万人	愛知県 213万人
2位 神奈川県	136万人	三重県 44万人	広島県 72万人
3位 静岡県	59万人	福岡県 37万人	福島県 71万人
4位 沖縄県	48万人	山形県 32万人	沖縄県 68万人
5位 山梨県	35万人	熊本県 25万人	福岡県 58万人
5位 長野県	35万人		

＜参考＞費用総額増加額(推計値)

※上位5都道府県

	07年→08年 増加額	06年→07年 増加額	05年→06年 増加額
1位 東京都	1,042億円	福岡県 454億円	愛知県 1,282億円
2位 沖縄県	683億円	新潟県 292億円	沖縄県 854億円
3位 神奈川県	581億円	和歌山県 205億円	広島県 359億円
4位 岐阜県	189億円	群馬県 186億円	福島県 343億円
5位 千葉県	188億円	鳥取県 155億円	三重県 226億円

＜宿泊旅行費用総額の推計方法＞

- ①集計データより性・年代別に個人旅行とバック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②性・年代・手配方法(個人orバック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

子供連れの家族旅行が減少傾向の一方で、一人旅が増加傾向。

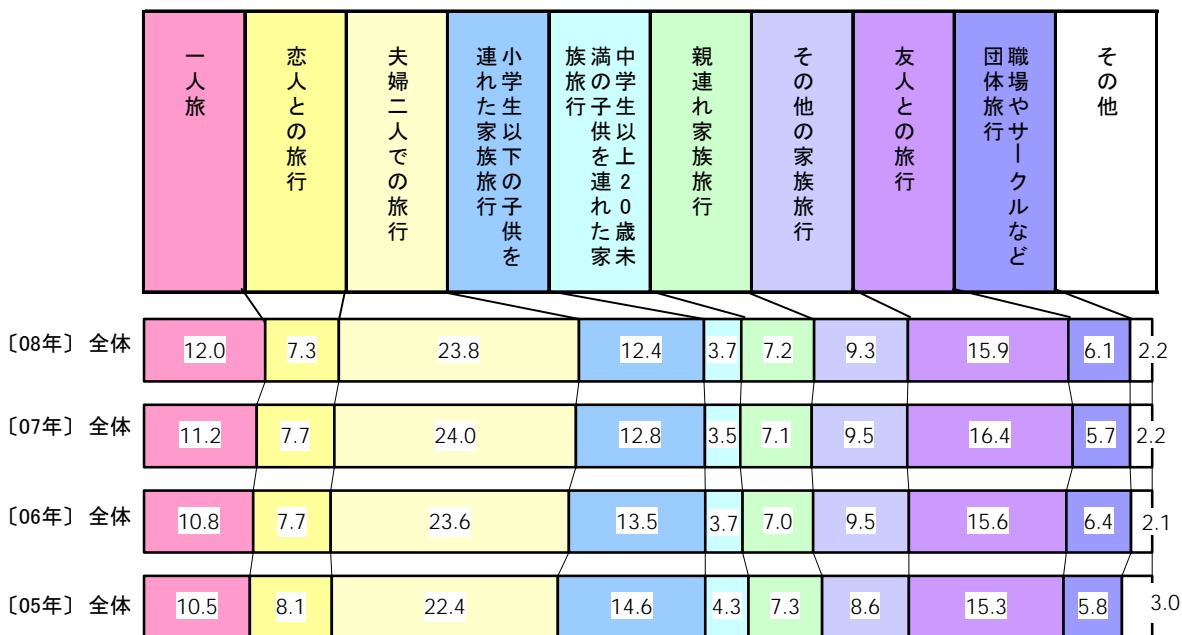
全体的な構成比率の傾向は変わらず、最も割合が多いのは夫婦二人での旅行となっている。経年でみると、子供連れの家族旅行が減少傾向にある一方で、一人旅の比率が徐々に上がっている。

※出張・帰省・修学旅行等による宿泊者数は含まない。

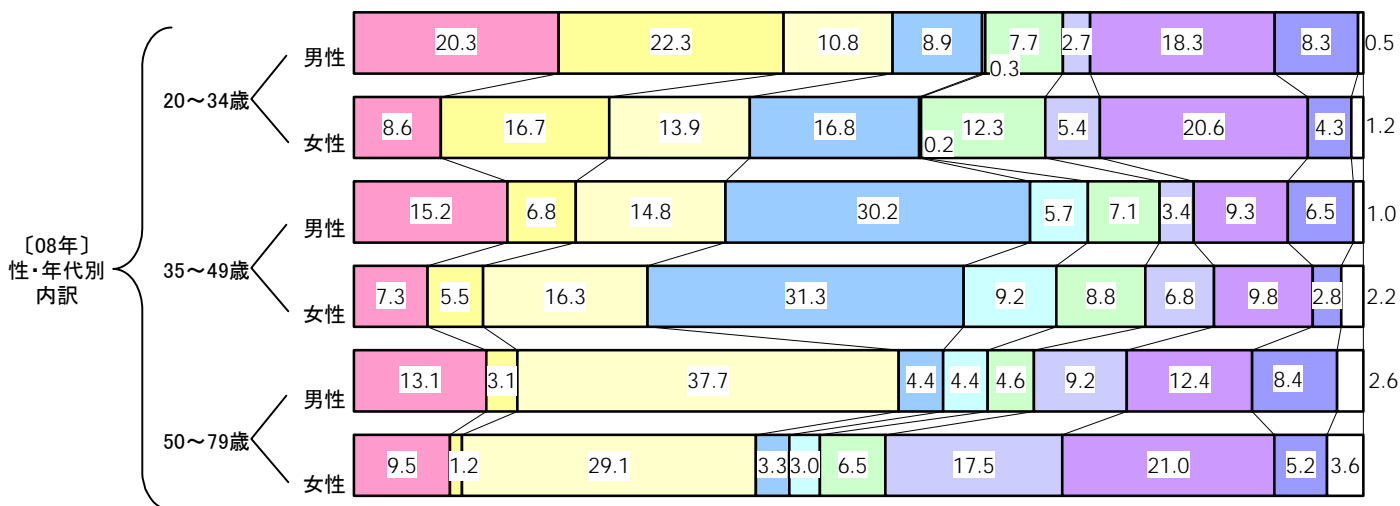
◇宿泊旅行の同行形態

<ベース: 延べ宿泊旅行件数>

(%)



(%)



(単位:%)

■地元ならではのおいしい食べ物が多かった

ー 1位:香川県、2位:高知県、3位:北海道

「讃岐うどん」が理由として多数あげられた香川県が第1位に。次いで、「カツオのタタキ」などが多数並ぶ高知県、「カニ」「ウニ」「ホタテ」「ジンギスカン」など多様な食が並ぶ北海道と続いている。

全体の傾向として、刺身・魚介類一般・カニ・ウニ・エビなど、地元でとれる新鮮な海の幸をあげる声が多い。また「讃岐うどん」「ジンギスカン」「ソーキそば」「牛タン」「博多ラーメン」などの郷土料理もみられた。

[ 08年 ]	
全体平均	54.2
1位 香川県	72.9
2位 高知県	72.8
3位 北海道	69.5
4位 鹿児島県	69.1
5位 沖縄県	68.4
6位 福井県	67.5
7位 宮城県	67.2
8位 石川県	66.9
9位 静岡県	65.3
9位 福岡県	65.3

[ 07年 ]	
全体平均	53.4
1位 高知県	77.0
2位 北海道	70.9
3位 石川県	68.1
4位 香川県	67.8
5位 沖縄県	66.3
6位 秋田県	65.9
7位 山形県	65.0
8位 鹿児島県	64.8
9位 宮城県	64.2
9位 三重県	64.2
9位 長崎県	64.2

■魅力のある特産品や土産物が多かった

(単位:%)

ー 1位:沖縄県、2位:京都府、3位:北海道

第1位は、昨年に続き特有の文化が際立つ沖縄県。次いで、日本の伝統文化を感じさせる京都府、海産物をはじめ特産品となる食品が多い北海道が続く。

第1位となった沖縄県では「泡盛」「ちんすこう」「琉球ガラス」など沖縄ならではの特産品が並ぶ。第2位の京都府では「漬物」「八つ橋」など、第3位の北海道では「チョコレート」「海産物」「果物」と多様な特産品を持つ都道府県が上位にきている。全体の傾向として、お菓子や海産品、または地元産の素材を使った加工食品などをあげる声が目立った。

[ 08年 ]	
全体平均	41.5
1位 沖縄県	66.1
2位 京都府	60.7
3位 北海道	55.8
4位 鹿児島県	55.2
5位 長崎県	54.6
6位 宮城県	54.2
7位 高知県	51.5
8位 佐賀県	49.1
9位 広島県	49.0
10位 香川県	48.9

[ 07年 ]	
全体平均	41.4
1位 沖縄県	68.9
2位 京都府	58.8
3位 長崎県	57.4
4位 北海道	56.2
5位 香川県	54.4
5位 鹿児島県	54.4
7位 青森県	53.0
8位 高知県	52.9
9位 秋田県	52.6
10位 愛媛県	49.0

■魅力的な宿泊施設が多かった

(単位:%)

ー 1位:沖縄県、2位:大分県、3位:熊本県

リゾートホテル人気の高い沖縄県が第1位。温泉と伝統ある旅館の人気の高い大分県が第2位に続く。

第1位の沖縄県、第2位の大分県と、前年と同じ顔ぶれが続いた。また、第3位に、昨年の9位から順位を上げた熊本県がランクインしている。

[ 08年 ]	
全体平均	36.5
1位 沖縄県	54.3
2位 大分県	50.8
3位 熊本県	49.9
4位 千葉県	47.3
5位 長崎県	47.0
6位 岐阜県	45.1
7位 石川県	41.6
8位 北海道	40.5
8位 栃木県	40.5
10位 京都府	40.4

[ 07年 ]	
全体平均	36.1
1位 沖縄県	57.5
2位 大分県	52.2
3位 長崎県	49.2
4位 千葉県	46.6
5位 岐阜県	43.6
6位 神奈川県	42.4
7位 北海道	41.9
8位 群馬県	41.0
9位 熊本県	40.5
10位 兵庫県	40.4

■地元の人ホスピタリティを感じた

(単位:%)

ー1位:沖縄県、2位:鹿児島県、3位:宮城県

沖縄県が、第2位と10ポイント以上離して第1位になる。

昨年と同じく第1位の沖縄県が、2位以下を14.6ポイント以上離す結果となった。

昨年と同様の傾向で、九州エリアと東北エリアの県が、数多くトップ10入りしている。

※本設問では、フリーコメントの回答を設定していない。

[ 08年 ]	
全体平均	25.7
1位 沖縄県	53.4
2位 鹿児島県	38.8
3位 宮城県	38.3
4位 高知県	36.4
5位 青森県	34.8
6位 奈良県	34.0
7位 山形県	33.7
7位 長崎県	33.7
9位 京都府	33.0
10位 秋田県	32.7
10位 熊本県	32.7

[ 07年 ]	
全体平均	24.3
1位 沖縄県	50.1
2位 鹿児島県	37.4
3位 青森県	35.2
4位 高知県	33.5
5位 秋田県	32.7
6位 宮城県	32.5
7位 奈良県	32.4
8位 岐阜県	31.4
9位 大分県	30.9
10位 山形県	30.4

(単位:%)

■子供が楽しめるスポットや施設が多かった

－ 1位:千葉県、2位:沖縄県、3位:三重県

「東京ディズニーリゾート」を擁する千葉県が、断トツの第1位。次いで、自然の「海」や「沖縄美ら海水族館」が人気の沖縄県、「志摩スペイン村」や「鈴鹿サーキット」を有する三重県と続く。

全体の傾向として、テーマパーク・水族館/動物園・自然体験ができる施設などが高い支持を集める結果となった。

第1位は千葉県。2位以下を23.6ポイント以上の大差で離しており、回答の大半が「東京ディズニーリゾート(東京ディズニーランド・東京ディズニーシーという回答を含む)」であった。

[ 08年 ]		[ 07年 ]	
全体平均	21.1	全体平均	20.9
1位 千葉県	60.9	1位 千葉県	58.9
2位 沖縄県	37.3	2位 沖縄県	37.7
3位 三重県	35.6	3位 大阪府	35.3
4位 和歌山県	32.0	4位 三重県	31.9
5位 大阪府	31.6	5位 和歌山県	27.3
6位 栃木県	26.7	6位 栃木県	26.5
7位 長崎県	26.0	6位 長崎県	26.5
8位 山梨県	25.7	8位 神奈川県	24.3
9位 熊本県	25.2	9位 東京都	24.2
10位 東京都	24.2	10位 福岡県	22.5

(単位:%)

■若者が楽しめるスポットや施設が多かった

－ 1位:千葉県、2位:沖縄県、3位:大阪府

上位の顔ぶれは昨年と変わらず。日本の二大テーマパークを有する2県が第1位と第3位となっている。

全体の傾向として、テーマパーク・水族館・買い物目的の街や施設をあげる声が目立つ結果となった。マリンスポーツや野球場と回答する声も多い。

第1位の千葉県は、「東京ディズニーリゾート」が圧倒的な人気だが、第2位の沖縄県、第3位の大阪府は、テーマパークに次いで買い物目的の回答が多い。

[ 08年 ]		[ 07年 ]	
全体平均	25.9	全体平均	25.3
1位 千葉県	56.7	1位 千葉県	56.4
2位 沖縄県	54.8	2位 沖縄県	53.9
3位 大阪府	48.6	3位 大阪府	49.2
4位 東京都	45.6	4位 東京都	45.3
5位 福岡県	43.0	5位 福岡県	40.0
6位 長崎県	29.8	6位 神奈川県	31.2
7位 神奈川県	29.3	7位 長崎県	28.8
8位 兵庫県	27.8	8位 三重県	27.6
9位 北海道	26.5	9位 長野県	26.0
10位 宮崎県	25.4	10位 北海道	24.9

(単位:%)

■大人が楽しめるスポットや施設が多かった

－ 1位:千葉県、2位:京都府、3位:沖縄県

「東京ディズニーリゾート」の人気が高い千葉県が第1位。「寺院」「神社仏閣」や「祇園」の人気が高い京都府が第2位、「沖縄美ら海水族館」「首里城」「国際通り」が人気の沖縄県が第3位と続く。

昨年から引き続き、全体の傾向として“子供が楽しめる・・・”“若者が楽しめる・・・”と比べて、多岐にわたるスポットや施設があげられる結果となった。名所・旧跡や自然園、テーマパーク、美術館、温泉、買い物などの回答が目立つ。第1位の千葉県では、「東京ディズニーリゾート」のほかに「成田山」などの声があがっている。

[ 08年 ]		[ 07年 ]	
全体平均	40.0	全体平均	39.0
1位 千葉県	57.1	1位 千葉県	56.4
2位 京都府	56.7	2位 京都府	55.4
3位 沖縄県	56.4	2位 沖縄県	55.4
4位 東京都	50.0	4位 東京都	49.4
5位 大阪府	49.0	5位 大阪府	47.7
6位 長崎県	46.8	6位 長崎県	45.8
7位 奈良県	46.7	7位 福岡県	44.8
8位 福岡県	44.3	8位 奈良県	44.5
9位 神奈川県	43.4	9位 神奈川県	44.3
9位 兵庫県	43.4	10位 大分県	42.2

<ランキングの算出方法>

- ①各テーマに関して、訪問した都道府県の評価を「そう思う」「ややそう思う」「普通」「ややそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択。
- ②「そう思う」「ややそう思う」を合計した割合が多い順に都道府県をランキングしている。

※集計は、延べ宿泊旅行件数をベースとしている。

<コメントの回答方法>

- ①「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に対して、任意でフリーコメントを記入させている。

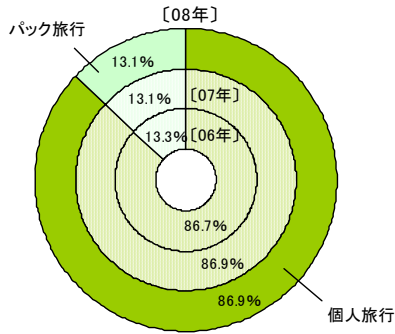
※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「子供が楽しめるスポットや施設が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設が多かった」



## <参考:その他の調査結果>

### ◇宿泊旅行の手配方法

<ベース:延べ宿泊旅行件数>



### ◇性・年代別 宿泊旅行の手配方法

<ベース:延べ宿泊旅行件数>

		個人旅行			パック旅行		
		[08年]	[07年]	[06年]	[08年]	[07年]	[06年]
全体		86.9	86.9	86.7	13.1	13.1	13.3
20~34歳	男性	90.7	91.0	90.9	9.3	9.0	9.1
	女性	86.6	86.8	87.4	13.4	13.2	12.6
35~49歳	男性	91.3	91.3	91.5	8.7	8.7	8.5
	女性	88.4	88.4	87.4	11.6	11.6	12.6
50~79歳	男性	87.9	88.1	87.6	12.1	11.9	12.4
	女性	82.1	81.8	81.3	17.9	18.2	18.7

(%)

※ 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

### ◇宿泊旅行の目的(複数回答)

<ベース:延べ宿泊旅行件数>

[08年]

